

令和3年度第4回全国健康保険協会滋賀支部評議会

開催日時：令和4年1月14日（金）14：00～16：00

開催場所：全国健康保険協会滋賀支部会議室

出席者：氏家評議員、海老評議員、杉江評議員、田中評議員、田端評議員、日爪評議員、
廣瀬評議員、山中評議員、山本評議員（五十音順）

事務局：西田支部長、阿川部長、浦崎部長、佐井グループ長、潟渕グループ長、
瀬戸グループ長、角川グループ長、竹内グループ長補佐、

傍聴者：なし

議事：（1）令和4年度保険料率について
（2）令和4年度滋賀支部事業計画及び予算について
（3）令和3年度滋賀支部事業報告

議題1. 令和4年度保険料率について

議題1について事務局より資料に基づいて説明を行った。

議題1について事務局より資料に基づいて説明を行った。

令和4年度保険料率を9.83%にすること、ならびに、令和4年4月納付分から変更することについての異論はなし。以下、個別の意見。

【事業主代表 A】

法定準備金1か月についての議論は、例えば法律改正を働きかけることまで見据える必要もあるだろう。その場合は何か月分必要なのかといった具体的な議論にもなってくるので、本部では通年ベースで検討してほしい。

【学識経験者 A】

制度を安定的に運営するために準備金はあった方がよいというのは確かなことだが、負担する側があるのでとにかく沢山あればいいというものでもない。そういったバランスをしっかりと考えてほしい。

議題2. 令和4年度滋賀支部事業計画及び予算について

【学識経験者 A】

健康宣言事業所数のKPIは、令和2年度実績と令和3年度の途中経過をふまえた上での達成の見込みを知りたい。

【事務局】

今月に入ってからですが、被保険者数 20 名以上の全事業所に勧奨文書の送付をしている。また、昨秋には協力事業者の募集をして 4 社が決定している。そういったところのマンパワーも動員していくので実現可能な目標と捉えて尽力している。

【事業主代表 B】

勧奨文書や協力事業者の話は資料の中に出てこない。こちらが知りたいのは、そういった事業のディテールであり、そういった話がないと令和 3 年度の事業計画との違いが見えてこないなので、資料の作り方を工夫してほしい。特に KPI が高めに設定されている項目についてお願いしたい。

【事務局】

了解した。

【学識経験者 B】

「令和 4 年度の計画・予算」を「令和 3 年度事業報告」の前の議事で扱うのはなぜか。順番が逆の方が自然だと思う。実際、資料を逆の順番で読むと理解が進む。

【事務局】

限られた時間の中での議事であり、保険料率と事業計画についてご意見を伺える時間が十分にとれるよう順番を先にした。令和 3 年度の実績や経過について必要な事柄は説明の中で触れたつもりだったが、足りなかったかもしれない。次回以降の議事の構成を再考する。

【事業主代表 C】

KPI は毎年少しずつ上がるものなのか。最終目標なく少しずつ上げるというのでは職員の士気に悪影響があるのではないか。

【事務局】

3 年計画のアクションプランがあって、毎年経過的に KPI が設定されている。

【事業主代表 A】

令和 4 年度から「重要度」「困難度」という表記が加わっている。「重要度」はさておき、実施策に追加や変更がないまま「困難度」と書かれれば、それはただの言い訳に見えてしまう。また「業務改革の推進」のところは滋賀支部事業計画となっているけれども、もし各支部が同じ問題を抱えているのだとすれば本部の問題でもある。これを支部事業計画とするならば、滋賀支部独自の検討策が書かれるべきではないか。

【事務局】

基盤的業務はどんどん標準化・効率化を図り、保険事業などの戦略的業務にシフトしていくというのが協会の方向性。独自のルールなどをつくるのはこうした流れと反する。こういった流れの中で書かれた計画だにご理解いただきたい。

議題 3. 令和 3 年度の滋賀支部事業報告書

議題 3 について事務局より資料に基づいて報告を行った。

【学識経験者 C】

ジェネリック医薬品の使用率が全体的に下がってきていて、滋賀は全国平均を超える成績で来たが、その差が縮まってきている。この点をどのように考えているか。

【事務局】

今回は 8 月までの資料だが、毎年 6 月に新しい薬剤の収載があるので分母が大きくなりジェネリック使用率が下がるという面もある。また、これが根本原因であると断定はできないが、大手 2 社の不祥事の影響に加えて火災による焼失事故などもあり供給不足が生じている。こうしたジェネリックを取り巻く現状について年度内にセミナーを開き、広く加入者に知ってもらう機会を作る予定である。

【被保険者代表 A】

従業員に特定保健指導をもっと受けてもらいたいと思っているが、何が基準に該当して案内が来ているのか、会社は分からなくても構わないが少なくとも本人が分かる仕組みがあると実施率も上がると思う。

【議長】

ストレートに書かなくとも「健診結果をよくご覧ください」と一行入れるだけでもだいぶ違うかもしれない。実際の案内の文面を簡単に変更できるかどうかという問題もあると思うが、事務局はこうした指摘を業務に生かすようにしてほしい。

【事務局】

了解した。

【学識経験者 A】

債権回収率の KPI に対しての見込みを知りたい。

【事務局】

昨年は高額債権が自主納付されたということがあったが、今年はそういったことがない。保険者間調整の入金見込みからすると、昨年に近いところまでは回収率が伸びると思うが、超えるのは難しいかもしれない。

【議長】

他に質問や意見がなければ終了とする。(一同意見等なし)